

第5号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 231-8530

住 所 横浜市中区山下町33

氏 名 ウエインズトヨタ神奈川株式会社

代表取締役 宮原 漢二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ウエインズトヨタ神奈川株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区元木 2-2-23		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	運輸 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	60	その他の小売業
主たる事業 の内容	新車小売業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	kL
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車の台数	193 台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2024年度	2026年度	(報告年度	2024年度分)
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり		
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり		
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添	指針様式のとおり		
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり		
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添	指針様式のとおり		
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添	指針様式のとおり		
備考				

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

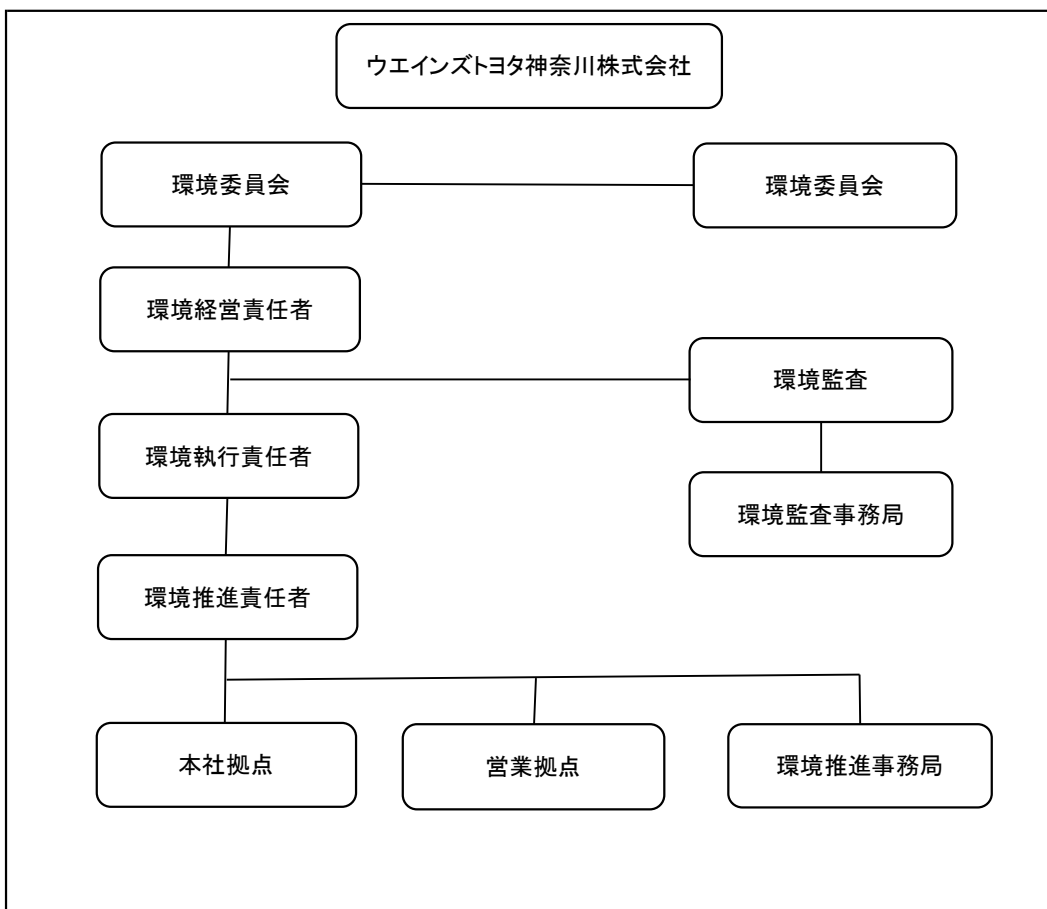
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

・「CO2削減プラン」を作成し、年1%削減する目標を設定し、対策に取り組む

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

・自動車については、エコドライブの継続的な取り組みと合わせて、ハイブリッドなど二酸化炭素の支出が少ない車種への代替を引き続き推進していく

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2023	年度	2023	年度	2023	年度
目標年度	2026	年度	2026	年度	2026	年度
基準排出量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)	102	(基)	
	(調)		(調)	101	(調)	
目標排出量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)	99	(基)	
	(調)		(調)	98	(調)	
削減量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)	3	(基)	
	(調)		(調)	3	(調)	
削減率	(基)	%	(基)	3.0 %	(基)	%
	(調)	%	(調)	3.0 %	(調)	%

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)	167	(基)
			(調)		(調)	167	(調)
		削減量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)	-65	(基)
		(調)		(調)	-66	(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	-63.7 %	(基)
			(調)	%	(調)	-65.3 %	(調)
第2年度	(年度)	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)		(基)
			(調)		(調)		(調)
		削減量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)		(基)
		(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)
			(調)	%	(調)	%	(調)
第3年度	(年度)	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)		(基)
			(調)		(調)		(調)
		削減量 ( $t-CO_2$ )	(基)		(基)		(基)
		(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)
			(調)	%	(調)	%	(調)

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2023	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)	102 101	(基) (調)	
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)	99 98	(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	% %	(基) (調)	3.0 3.0	% %	(基) (調)
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	-63.7 -65.3	% %	(基) (調)
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)		% %	(基) (調)
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)		% %	(基) (調)

(3) 目標設定に関する説明

ハイブリッド車両や燃料電池車両等の導入を進め、急発進等の運転を控えたエコドライブを全社的に周知させる使用目的に応じた適正な自動車の使用

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	自動車について、電気自動車や燃料電池車両等の次世代自動車及びハイブリッド車両など二酸化炭素の支出が少ない車種への代替を踏まえた社用車導入計画を策定する	
第1年度	ハイブリッド車両を始めとした次世代車両が取扱車種のラインナップに於いて多数を占めている中で、営業販売施策により自社名義車両を多数導入した結果、走行距離・燃料の使用量は共に増加し、温室効果ガスの排出量は比例増加した。	
第2年度		
第3年度		
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

6 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項（3号該当者等）

(1) 燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)	別紙参照	別紙参照			別紙参照

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	9 台
小型貨物自動車	18 台
大型バス	0 台
マイクロバス	0 台
乗用自動車	166 台
特種自動車	0 台

イ 対象自動車の内訳

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
次世代自動車	電気自動車	8台	8台			9台
	プラグインハイブリッド自動車	3台	12台			4台
	ハイブリッド自動車	66台	96台			68台
	燃料電池自動車	2台	1台			3台
	その他					
上記以外		76台	76台			76台

(3) 乗用車の電気自動車・燃料電池自動車の導入割合

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
導入割合(%)	4%	5%			8%

(4) 目標設定に関する説明

<p>プラグインハイブリッド車両や燃料電池車両等の次世代自動車推進させることやエコドライブの推進を全社展開することで上記目標を達成する。</p>
--

(5) 計画期間の燃費の向上、次世代自動車導入の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する燃費の向上、次世代自動車導入等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第5及び6等を参考に記載してください。)

計画	各年度毎に策定される社用車予算に基づき次世代自動車の導入を進める	
第1年度	販売施策に基づいた社用車導入を進めた結果、次世代自動車の保有台数が増加し、特にハイブリッド自動車の保有を大幅に増加させた事で保有台数全体に対する導入割合も比例増加している。	
第2年度		
第3年度		
計画期間における燃費の向上、次世代自動車導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

車種別燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)					
ガソリン自動車等 1.4t未満	21.93	19.43			22.59
ガソリン自動車等 2.2t未満	14.23	14.14			14.66
ガソリン自動車等 2.2t以上	8.10	7.57			8.34
バス 10t未満					
バス 10t以上					
貨物 3.5t以下かつ1196kg未満	12.42	12.20			12.79
貨物 3.5t以下かつ1196kg以上		15.82			
貨物 7.5t未満	7.14	6.45			7.35
貨物 7.5t以上	6.30	6.30			6.49

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし	上記目標等の設定なし		
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし	取組実績なし		
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	無	無		
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし	導入なし		
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし	該当なし		
RE100	該当なし	該当なし		
RE Action	該当なし	該当なし		
TCFD	該当なし	該当なし		

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし	記載なし		
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし	製品・技術等の利用なし		
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし	取得なし		
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<p>特に無し</p>
<p>第1年度</p>	<p>特に無し</p>
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	